

教頭通信デジタル

令和4年12月19日（月）第28号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

三石中学生大学が開学しました

◆◆◆三石中学生大学(MITSUISHI-CHUGAKUSEI-UNIVERSITY)とは◆◆◆

岡山理科大学経営学部経営学科の大学生と三石中学校の1・2年生が、社会や地域をより良くするための研究を行う、中学校と大学の交流学习です。「社会・地域・仲間・自分」をより素晴らしいものにするためにゼミナールを開講し、研究テーマを討議・発表します。中学生は興味・関心のある研究テーマを選択し、大学生が指導教官となり研究に取り組みます。開講するゼミナールは、**社会・お金の仕組みを学ぶゼミ**、**「モテる」を研究するゼミ**、**フードロス課題の解決を目指すゼミ**の3つです。社会・お金の仕組みを学ぶゼミでは、投資や税について学びます。「モテる」を研究するゼミでは、好印象を与える身だしなみやマナーについて学びます。フードロス課題の解決を目指すゼミでは、フードロスを解決するための具体的な方策を学びます。



12月16日（金）、本校の特別活動室で、三石中学生大学の開学式を行いました。岡山理科大学から先生2名と大学生16名の合計18名が来校されました。小郷校長先生と高橋良平先生（岡山理科大学）の挨拶の後、本校の卒業生である菊政さんが開学の宣言を行いました。その後は、生徒が所属するゼミの発表があり、そして、ゼミごとに3教室に分かれて、自己紹介や第1回講義を行いました。中学生にとって、大学生は普

段はあまり交流することがない存在です。しかし、年齢も近く、直ぐに親しくなることができました。大学生が非常に優しく丁寧に笑顔で中学生に接している姿を見て、我々現場の教員も見習うべきことが多くありました。次回（第2回）は来年1月27日（金）に実施する予定です。今後も三石中学生大学（大学生との交流学习）をとおして、いろいろなことを学んでいきましょう。

